

増大号

中枢神経の 感染症ハンドブック

診断技術や治療法が進歩した現在でも、中枢神経の感染症は大きな脅威です。多様な病原体がもたらす病態は複雑で、迅速な判断が求められる場面は少なくありません。さらに、免疫抑制療法の普及や高齢化、国際的な移動の増加により、日和見感染症や輸入感染症に直面する機会も増えています。また、感染が急性期の収束をみた後も、免疫応答の変容や神経系への影響を通じて長期的な病態変化を生じ得ることも明らかになりつつあります。

本特集では、画像鑑別、抗菌薬の中枢移行、免疫不全下の管理、ステロイド使用などの総論を整理し、各論では細菌、ウイルス、真菌、寄生虫など広範な感染症を網羅しました。各疾患の概要や疫学、臨床症候、診断のステップから、最新の治療と予後に至るまで、臨床に直結する視点で整理しています。知識のアップデートとして、そして確かな指針として、神経感染症の“今”を俯瞰する一助となれば幸いです。